

様 式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成 24 年度）

1. 機関番号

3	2	6	9	2
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 東京工科大学

3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 補助事業期間 平成 24 年度～平成 25 年度

5. 課題番号

2	4	7	9	2	5	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題 脳死下臓器提供患者家族に対する看護援助方法構築に向けた実証的研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
6 0 6 1 3 2 7 1	タムラ ナミコ 田村 南海子	医療保健学部	助手

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

今年度は、ドナー家族（以下、家族）が脳死下臓器提供の一連のプロセスにおいて、実際に体験した出来事とその心理的軌跡はどのようなものであるか、脳死下臓器提供後の家族の長期的な受けとめに関与する要因を明らかにすることを目的として研究を行った。ライフストーリー法を参考に脳死下臓器提供を体験した4家族のうち、意思決定の役割を担った代表者1名ずつの研究参加者に、半構成的インタビューを行い得られたデータを分析した。結果より以下のことが明らかとなった。1. 家族は脳死下臓器提供の一連のプロセスにおいて、さまざまな出来事により心理的揺れ動きを体験していた。2. 家族は脳死状態の患者を死と認識することを契機とし、家族の死に際しての意味の探索をはじめ意味を生成する過程で臓器提供の意思決定を行っていた。3. 脳死下臓器提供の意思決定に際し、家族はドナーの価値が明確である場合、ドナーの価値を優先し、ドナーの価値が明確でない場合、家族の価値に照らし合わせて意思決定を行っていた。ここで、家族の価値とドナーの価値が一致することは、家族がドナーの価値観を家族の内に包含し、臓器提供の意思決定を肯定的に受けとめることに影響する。一方、家族の価値とドナーの価値が一致しないまま意思決定を行っている場合、家族の心理的揺らぎが継続していた。4. 家族が脳死下臓器提供のプロセスで見いだした家族の価値信念は、その後臓器提供のプロセスで家族が体験する出来事に対する心理的揺らぎの支えとなり、提供後の家族の心理にも影響を与えていた。5. 脳死下臓器提供のプロセスで、医療者の介入は家族の意味生成に影響を及ぼし、その影響は提供後の家族の生き方にまで及んでいた。以上の分析結果より、我が国の脳死下臓器提供における看護実践への示唆を得ることができた。

10. キーワード

(1) 臓器提供	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)

11. 現在までの達成度

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

今年度の研究目的であるドナー家族が脳死下臓器提供の一連のプロセスにおいて実際に体験した出来事とその心理的軌跡、脳死下臓器提供後の家族の長期的な受けとめに影響する要因について明らかにすることができた。また、それらより我が国の脳死下臓器提供におけるドナー家族支援に向けた看護実践についての示唆を得ることができ、来年度の研究課題の達成に向けた結果を得ることができた。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

平成24年度に脳死下ドナー家族へインタビューを行い得られた結果をもとに、我が国の脳死下臓器提供におけるドナー家族支援に向け必要な看護援助についての考察を深める。それらと、既存の海外における脳死下ドナー家族支援についての教育プログラムが、我が国の脳死下臓器提供実施施設でどの程度実際に行われているか実態調査を行う。それとともに、家族支援のための看護実践の実施の有無に関連する要因について調査し検討する。

(次年度の研究費の使用計画)

平成24年度に予定していたインタビュー対象者が、首都圏でインタビューが可能だったこと、またインタビューと分析に時間を要し、学会参加が出来なかったことにより、国内旅費に繰越金が生じた。

平成25年度の使用計画について、以下に示す。
 全国の脳死下臓器提供実施施設への質問紙調査を実施するため、質問紙の作成と印刷(8万円) 質問紙の郵送に関連する費用(8万円) 統計解析ソフトの購入(65万円) 学会発表および論文投稿のための学会参加費(5万円) 学会参加用旅費(10万円) 研究成果報告書の印刷(10万円) 研究についてのスーパーバイザーとの打ち合わせ旅費(8万円) ドナー家族を対象とした追加インタビュー調査旅費(10万円) 統計分析、移植医療・救急看護に関する書籍の購入費(約10万円)

13. 研究発表(平成24年度の研究成果)

〔雑誌論文〕計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁

掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)				

〔学会発表〕計(1)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名	発表標題【発表確定】	
田村南海子	ドナー家族の脳死下臓器提供プロセスにおける体験と心理的軌跡～ドナー家族に対する看護ケアの発展に向けて～	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本臨床救急医学会	2013年07月12日～2013年07月13日	東京国際フォーラム(東京都)

〔図書〕計(0)件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.備考

--